



防衛技術戦略、中長期技術見積り、研究開発ビジョンの概要

防衛技術戦略

1. 防衛技術戦略策定の背景

政府全体の国家安全保障に資する技術政策の現状

「国家安全保障戦略」

「防衛計画の大綱」
「中期防衛力整備計画」

「第5期科学技術
基本計画」

自由民主党国防部会提言 (H28.5)

防衛装備・技術政策に関する
有識者会議報告書 (H28.8)

防衛省において、研究開発を中心とした技術政策を的確かつ機敏に遂行していくためには、「**防衛技術戦略**」の策定が必要

3. 推進すべき具体的施策

➢ 上記目標を達成するため、**次の3つの施策を推進**。これらのサイクルにより、技術力を一層強化。

①**技術情報の把握**: 諸施策の基礎となる技術情報を民生技術も含め把握するほか、ゲームチェンジャーとなり得る先進的な技術分野を明らかにする**中長期技術見積り**を策定する。

②**技術の育成**: 防衛力構築の基盤を担う研究開発や国内外の関係機関等との技術交流のほか、中長期的な研究開発を推進する**研究開発ビジョンの策定**、ファンディング制度等を推進する。

③**技術の保護**: 技術移転を適切に実施するための技術管理及び防衛省が保有する知的財産の活用を推進する。

2. 防衛省の技術政策の目標

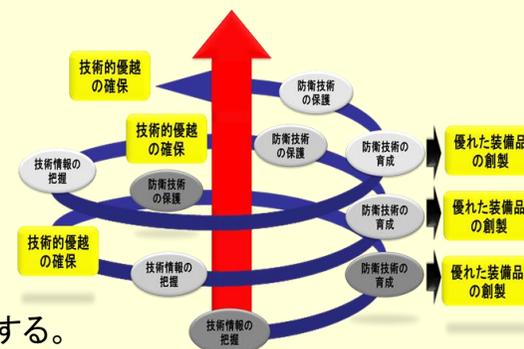
➢ 我が国の防衛力の基盤となる技術力を強化するため、**次の2つの目標を設定**。

(1) 技術的優越の確保

○諸外国に対する技術的優越を確保することは、防衛力強化に直接的に寄与するとともに、バーゲニングパワーの源泉ともなる。

(2) 優れた防衛装備品の効果的・効率的な創製

○防衛力整備上の優先順位との整合性を確保しつつ、優れた防衛装備品を効果的・効率的に創製する。技術力の強化



中長期技術見積り

➢ 今後20年間を見据え、重点的に獲得を目指すべき**ゲームチェンジャーとなり得る先進的な技術分野を提示**。公表することで、優れた民生先進技術の取込みや、外部における関連技術の育成促進を期待。将来取り組むべき技術分野の方向性を検討した結果、今後、**特に、次の4つを重視**。

- ✓ 無人化への取組
- ✓ スマート化、ネットワーク化への取組
- ✓ 高出力エネルギー技術への取組
- ✓ 現有装備の機能・性能向上への取組



高出力エネルギー技術への取組の例

将来無人装備に関する研究開発ビジョン

➢ 無人装備分野において、技術的優越を確保し得るよう、航空無人機を中心とし、中長期的な研究開発ロードマップを提示。**将来無人装備(航空無人機)の研究開発を体系的に推進**。

航空無人機の研究開発の取り組み～技術獲得の流れ～

